

EA725EB-1~4(デジタルマイクロメーター)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 使用に際しましては 取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。 Ver.1.1

◆特長

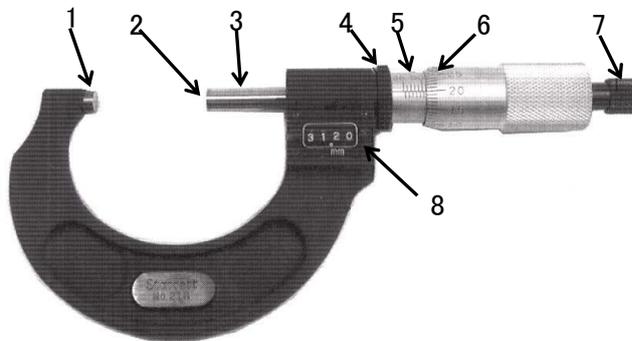
- ・サテンクローム仕上げ…つや消し、防さび
- ・ハイマイクロ仕上げ…アンビルとスピンドルの表面
- ・テーパー状のフレーム…狭い所でも計測できます。
- ・スピンドルは一本ですので正確さが長く保てます。
- ・強化ネジで安定した測定
- ・簡単なスリーブ調節
- ・丈夫です。
- ・1/1000単位まで読み取りができます。

◆仕様

- ・最小目盛… 0.001mm
- ・スピンドル径…6.35mm

品番	測定範囲
EA725EB-1	0~25mm
EA725EB-2	25~50mm
EA725EB-3	50~75mm (廃番)
EA725EB-4	75~100mm

◆各部名称



1. アンビル
2. 計測面
3. スピンドル
4. ロックナット
5. スリーブ
6. シンブル
7. ラチェットストップ
8. デジタルカウンター



警告

シンブルを回転する時にスリーブの0の目盛りを超えないように注意すること。
 0を超えると以後の読み取りが不正確になります。

◆測定

測定面に測定物をはさみシンブルでスピンドルを動かし最終的にラチェットストップを廻し、
 空回りするまでスピンドルを押し当てその位置の数値を読んでください。

◆目盛りの読み取り方

副尺上の10目盛りはシンブル9つの目盛りと同じ長さです。
 (図 B)
 (副尺の目盛り幅とシンブルの目盛り幅の誤差は0.001です。)
 まず、0.01mmから読みます。次に副尺、上のどのラインが
 シンブル上のラインと一致しているかを見ます。
 これらをスリーブで読み取ったmmと合計します。

副尺の1本目と一致しているのなら、0.001mm、
 2本目となら 0.002mmをスリーブ尺の長さ足します。
 0.001の目盛りはスペースが過密のため
 2つ毎の目盛りだけ数字を付けてあります。(図 C)

誤差を避けるため同じ姿勢で真正面から読み取って下さい。

例) (図 C) 読み取れるスリーブ尺は 5mm、
 シンブルと副尺との一致しているのは
 5目盛り目なので 0.005mmで合計 5.005mm

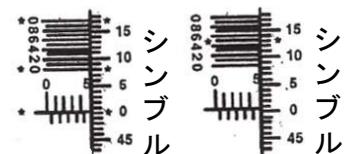
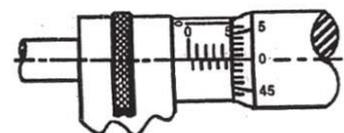
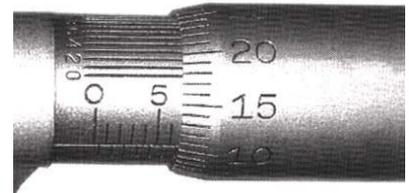


図 B
 READING
 5.000 MM

図 C
 READING
 5.005 MM

◆デジタルカウンター

0.01mm単位まで測定結果がデジタルカウンターに表示されます。

◆マイクロメーターの調整方法

1. スピンドルナットを長い間使用してスピンドルに遊びが生じた場合は、まず、シンプルを後にもっていき、調節ナットの穴にスパナを差し込んで遊びがなくなるまで締めて下さい。
2. アンビルとスピンドルの測定する面からホコリや砂を全て注意して取って下さい。それらを合わせてスリーブの小さい穴にスパナを差し込みます。スリーブのラインがシンプルの0のラインと一致するまで回します。

図 1



図 2

